

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 鳥取市移動等円滑化協議会（地域公共交通バリアフリー化調査事業（移動等円滑化基本構想策定事業））の概要



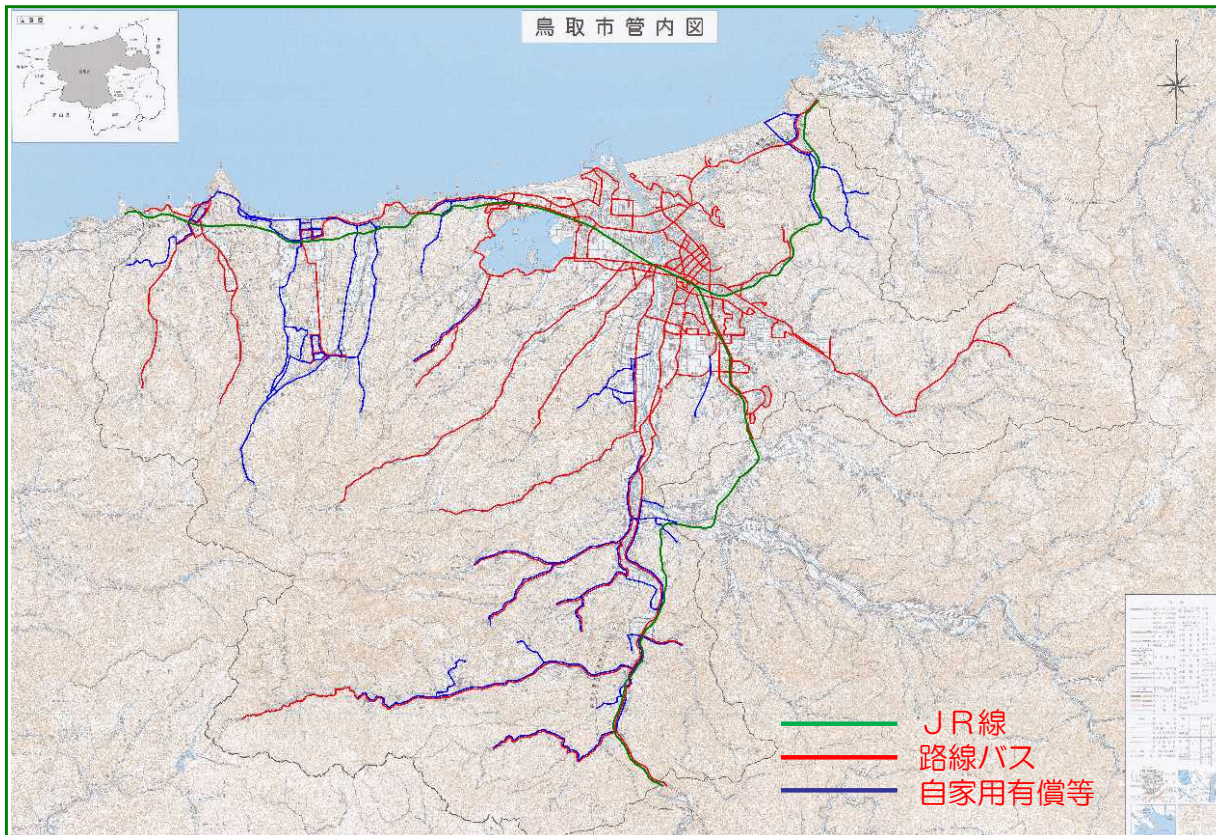
鳥取市の概要

- 平成16年11月に1市6町2村が合併
- 人口 18.8万人（令和2年10月時点）
- 面積 765.3平方キロメートル

鳥取市移動等円滑化協議会の構成員

国土交通省 鳥取県 鳥取市 鳥取警察署 学識経験者 鳥取市自治連合会
鳥取市社会福祉協議会 鳥取市老人クラブ連合会
鳥取市身体障害者福祉協会連合会 鳥取県視覚障害者福祉協会
鳥取県聴覚障害者協会 ゆうゆうとっとり子育てネットワーク
鳥取市私立幼稚園・認定こども園協会 JR西日本 鳥取県バス協会
鳥取県ハイヤータクシー協会 鳥取商工会議所 鳥取市商店街振興組合連合会
鳥取市ホテル旅館組合 鳥取市観光コンベンション協会 鳥取県東部医師会

地域公共交通の現況



地域公共交通の現状

- ・鉄道 : JR山陰本線
: JR因美線
- ・バス路線 : 109系統
- ・乗合タクシー : 5地域
- ・福祉有償運送 : 4団体
- ・自家用有償旅客運送 : 市バス 7路線
: 共助交通 7路線
- ・高齢化率 : 約30%

具体的な課題・問題点

本市においては、平成14年に旧交通バリアフリー法に基づき、「鳥取市交通バリアフリー基本構想」を策定し、公共交通や道路を特定事業としてバリアフリー化の促進に取り組んできた。しかしながら、目標年度を過ぎた後も見直しができず、本市においてバリアフリー化を進める独自の計画がないため、十分な取組ができていない状況であり、中心市街地以外の地域においては未だ多くの課題が残っている状況である。

また、総合計画・都市計画マスタープラン・中心市街地活性化基本計画・新市まちづくり計画などにおいてバリアフリー化促進の必要が述べられているが、それぞれの計画において整合や一体感が図れていない側面があったため、令和4年度に市域全体のバリアフリー化の方針を示す「鳥取市バリアフリーマスタープラン」を策定した。

バリアフリーマスタープランに続き、より効果的に面的・一体的なバリアフリー化の推進を図るために、具体の事業を位置づけるバリアフリー基本構想の策定が必要である。

計画策定事業の実施

調査事業の概要

- ・現状と課題の整理
- ・重点整備地区の設定
- ・生活関連施設・経路の設定
- ・実施すべき特定事業等の整理
- ・協議会等の開催

地域住民の意見の反映

- ・マスタープラン策定時に行った高齢者団体や障がい者団体等へのヒアリング調査の結果を踏まえ、重点整備地区や生活関連経路の検討を行った。

協議会における検討

協議会の開催状況 2回開催

- 第5回（11月30日）
 - ・バリアフリー基本構想の策定について
 - ・スケジュールについて
- 第6回（R6.2月予定）
 - ・鳥取市バリアフリー基本構想について（現状と課題、基本方針、重点整備地区など）

事業実施の適切性

- ・計画に基づき調査検討に取り組み、協議会や関係団体等の意見を基本構想に反映させ、適切に実施することができた。

調査事業の結果の概要

1. 現状と課題の整理
鳥取駅・城跡周辺地区及び鳥取大学前駅・湖山駅周辺地区の道路や主要施設のバリアフリー状況について整理し、結果を踏まえ、バリアフリーに関する課題整理を行った。
2. 重点整備地区の設定
現状と課題の整理を踏まえ、バリアフリーに関する基本方針を定めるとともに、法令に定める地区要件に留意し、重点整備地区の設定を行った。
3. 生活関連施設・経路の設定
地域の二ーズ等を踏まえ、重点整備地区内において生活関連施設及び生活関連経路を定めるとともに、それぞれの整備方針を設定した。
4. 実施すべき特定事業等の整理
実施すべき特定事業やその他のソフト施策、関連施設について整理するとともに、継続取組方策等について検討を行った。
5. 協議会等の開催
有識者や関係団体、交通事業者等から構成される協議会において、協議会の運営支援や必要な資料作成・とりまとめを行った。



地域公共交通計画等の計画策定 に向けた方針等

- 令和5年7月から令和6年2月に、計画策定に向けた調査検討業務を実施し、重点整備地区や生活関連施設及び生活関連経路の検討を行った。
- 令和6年度には、バリアフリー基本構想の素案を作成した後、パブリックコメントを実施し、令和6年度中に鳥取市バリアフリー基本構想の公表を行う予定。

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 米子市バリアフリー推進協議会(地域公共交通バリアフリー化調査事業(移動等円滑化基本構想策定事業))の概要



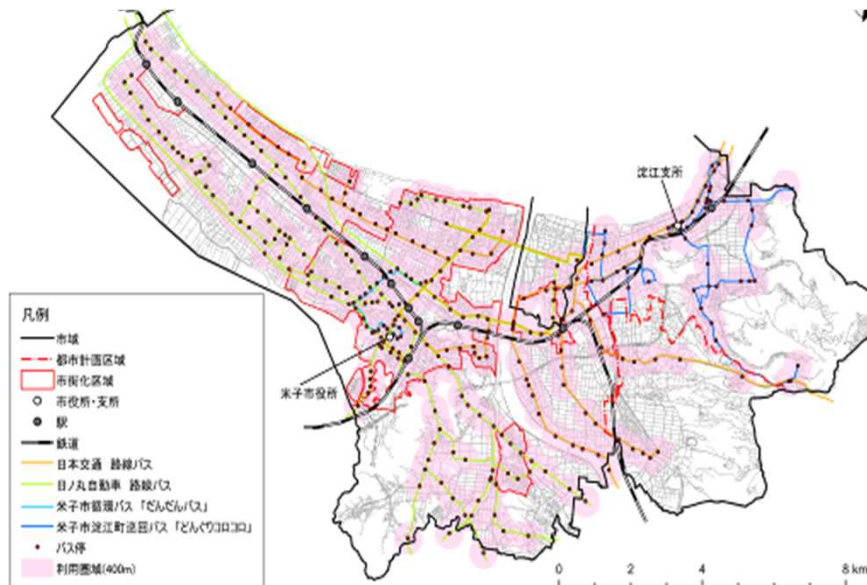
米子市の概要

- 平成17年3月に1市1町が合併
- 人口 14.7万人(令和2年10月現在)
- 面積 132平方キロメートル

バリアフリー推進協議会の構成員

学識経験者 米子市老人クラブ連合会、米子市身体障害者福祉協会、鳥取県聴覚障害者協会、鳥取県視覚障害者福祉協会、障害者生活支援センターすてっぷ、米子市ボランティア協議会、米子市社会福祉協議会、米子市手をつなぐ育成会、鳥取県見えにくい人を考える会、鳥取県視覚障害者歩行訓練士会、鳥取盲ろう者友の会、道路管理事務所 中国運輸局 米子警察署 米子商工会議所 JR西日本 日ノ丸自動車 日本交通 鳥取県ハイヤータクシー協会 鳥取県 米子市 米子商工会議所

地域公共交通の現況



地域公共交通の現状

- ・ 鉄道：JR山陰本線・JR境線JR伯備線
- ・ 4条バス路線：日ノ丸バス、日交バス 系統数45 米子市循環バス
- ・ 78条バス：市町村運営有償運送(淀江地域)
- ・ 高齢化率29%

具体的な課題・問題点

移動等円滑化基本構想を策定後は、協議会において重点整備地区内の現地点検を毎年実施し、移動等円滑化基本構想内に定める事業の進捗管理を図っているが、すでに完了している事業も多くあり、協議会内でも新たな取組みの必要性に関する意見が出ている。

調査事業の実施

調査事業の概要

- ・ 協議会の開催
- ・ 現況調査(高齢化、障害者手帳登録者、JR乗降者数)
- ・ ヒアリング調査(高齢者・障がい者団体等)

協議会における検討

- 協議会の開催状況 2回開催
- ・第1回（11月21日）
基本構想見直しの進め方の確認
- ・第2回（2月14日予定）
事業評価について
基本構想素案の検討について

地域住民の意見の反映

- ・高齢者及び障がい者の団体に直接赴き、当事者及び支援者にヒアリング調査を実施する予定であり、調査結果については次年度に基本構想の素案に盛り込む。

事業実施の適切性

- 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった
- ・現状把握に時間を要し、協議会の調整に難航し、1カ月遅れの開催となった。
- ・その結果、協議会の開催が3回から2回となり、協議を一度の会議でまとめて行うことになった。
- ・ヒアリング調査に時間を要し、今年度中に調査は完了する予定だが、2月の協議会までに結果をまとめることができないため、次年度の1回目の協議会にて結果を報告する。

調査事業の結果の概要

- ・11月にバリアフリー推進協議会を開催し、現況の把握と今後のスケジュールを共有した。今後は高齢者及び障がい者団体にヒアリング調査を実施し、バリアフリーに関する意向や現状の課題等を把握する予定。
- ・市内の高齢者率、障害者手帳登録数、公共交通利用状況の推移を調査し、現状の整理を行う。
- ・上記調査を取りまとめながら、結果を基本構想に反映させていく。



地域公共交通計画等の計画策定 に向けた方針等

- ・調査を反映させた基本構想案について、バリアフリー推進協議会の構成員による検討を経て、令和6年半ばまでに素案を仕上げていく。
- ・素案の作成後は、パブリックコメントを実施し、令和6年度末には改正した米子市バリアフリー基本構想の公表を行う予定。

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 和気町バリアフリー推進協議会（地域公共交通バリアフリー化調査 事業（移動等円滑化基本構想策定事業））の概要



和気町の概要

- 平成18年3月に2町が合併
- 人口 13,623人（令和2年10月現在）
- 面積 144.21平方キロメートル
- 高齢化率 38.6%

和気町バリアフリー推進協議会の構成員

和気町 和気商工会 IPU環太平洋大学 和気町老人クラブ連合会
和気町身体障害者福祉協会 和気町精神障がい者家族会
岡山県聴覚障害者福祉協会 和気町手をつなぐ親の会 和気郡PTA連合会
西日本旅客鉄道株式会社岡山支社 岡山県タクシー協会 備前警察署
中国運輸局 岡山県備前県民局東備地域事務所

地域公共交通の現況



地域公共交通の現状

- ・鉄道：JR山陽本線
- ・バス路線：和気町営バス 広域路線バス（赤磐・和気線）
- ・タクシー（和気駅発着）：和気タクシー いじタクシー

具体的な課題・問題点

- ・JR和気駅を含む周辺のバリアフリー化
- ・生活関連施設・経路の補修、改良
- ・和気駅周辺と施設拠点を結ぶ移動等の円滑化
- ・バス停、車両、駅ホームなど公共交通の利用環境の改善・整備



調査事業の実施

調査事業の概要

- ・現況調査
- ・基本構想（案）の作成
- ・協議会等の開催
- ・パブリックコメント（案）の作成

協議会における検討

- 協議会の開催状況 3回開催
- ・第1回（8月30日）
基本構想・ワークショップ概要説明
 - ・第2回（11月24日）
ワークショップ結果報告
基本構想（素案）の確認
 - ・第3回（2月8日）
パブコメを反映した基本構想について

地域住民の意見の反映

- ・和気駅周辺地区について、協議会委員と有志の参加者（障害者）でまち歩き点検ワークショップを行い、現地調査で出た意見の収集を行った。
- ・本年度12月～1月に町内在住者や町内通勤・通学者を対象にパブリックコメントを実施し、基本構想に反映させる。

事業実施の適切性

- 事業が計画どおり適切に実施された。
- ・地域公共交通計画（和気町バリアフリー基本構想）策定に必要な調査ができた。

調査事業の結果の概要

- ・和気町の人口推移や公共交通の利用状況などを調査し、バリアフリー化の重点整備地区を設定した。
- ・和気駅周辺地区のバリアフリーにおける課題を整理し、今後の整備方針を作成した。
- ・重点整備地区の各施設及び経路の現地調査を踏まえ、今後それぞれで取り組んでいく改修や更新についての事業計画を作成した。
- ・最終的な基本構想については2月8日の協議会で詳細を詰め、3月中に策定予定。



地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針等

まち歩き点検ワークショップでの町民意見等を踏まえ、公共交通特定事業、道路特定事業、交通安全特定事業、建築物特定事業、路外駐車場特定事業、教育啓発特定事業（心のバリアフリー）を設定した。

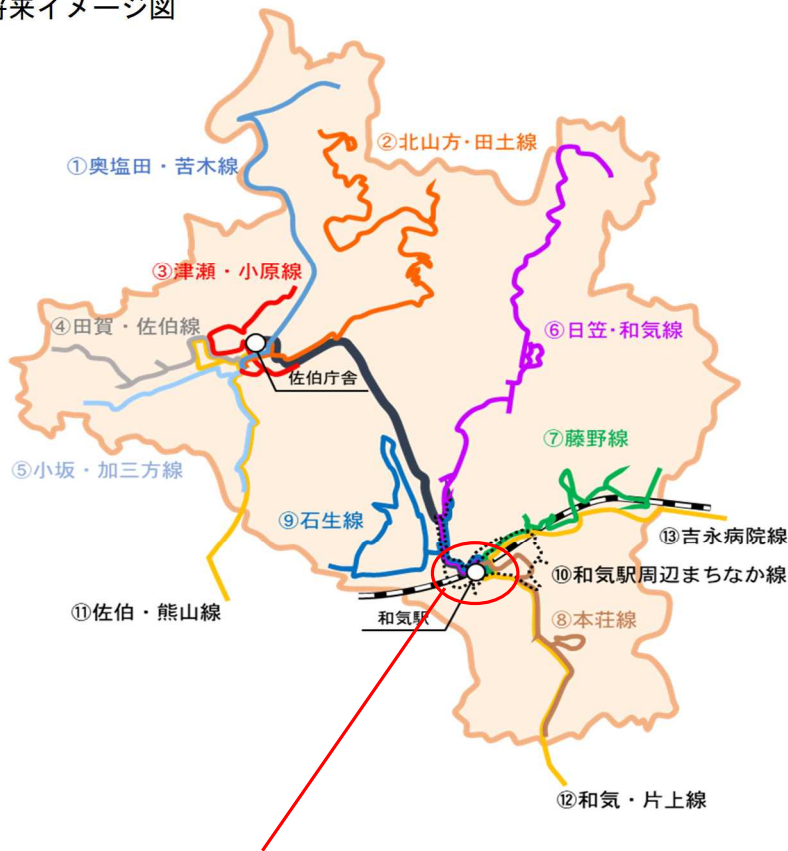
大規模改修を伴うバリアフリー化等は、計画的に予算を確保して整備を推進する必要があるため、すぐに改善が困難な場合もあるが、こうした計画期間内にバリアフリー化を実施できる見込みがない事業についても、長期的な展望を示す観点から特定事業へ位置づけを行い、将来的な実現を目指すものとする。

また、現時点で特定事業を位置付けていない施設についても、今後、長期的な展望に立って議論を行い、必要となった時点で特定事業の位置づけを行う。

素案ができている場合、策定しようとする計画において目指す公共交通の将来イメージ図等を貼付

（別途添付可）

将来イメージ図



鉄道

J R 山陽本線

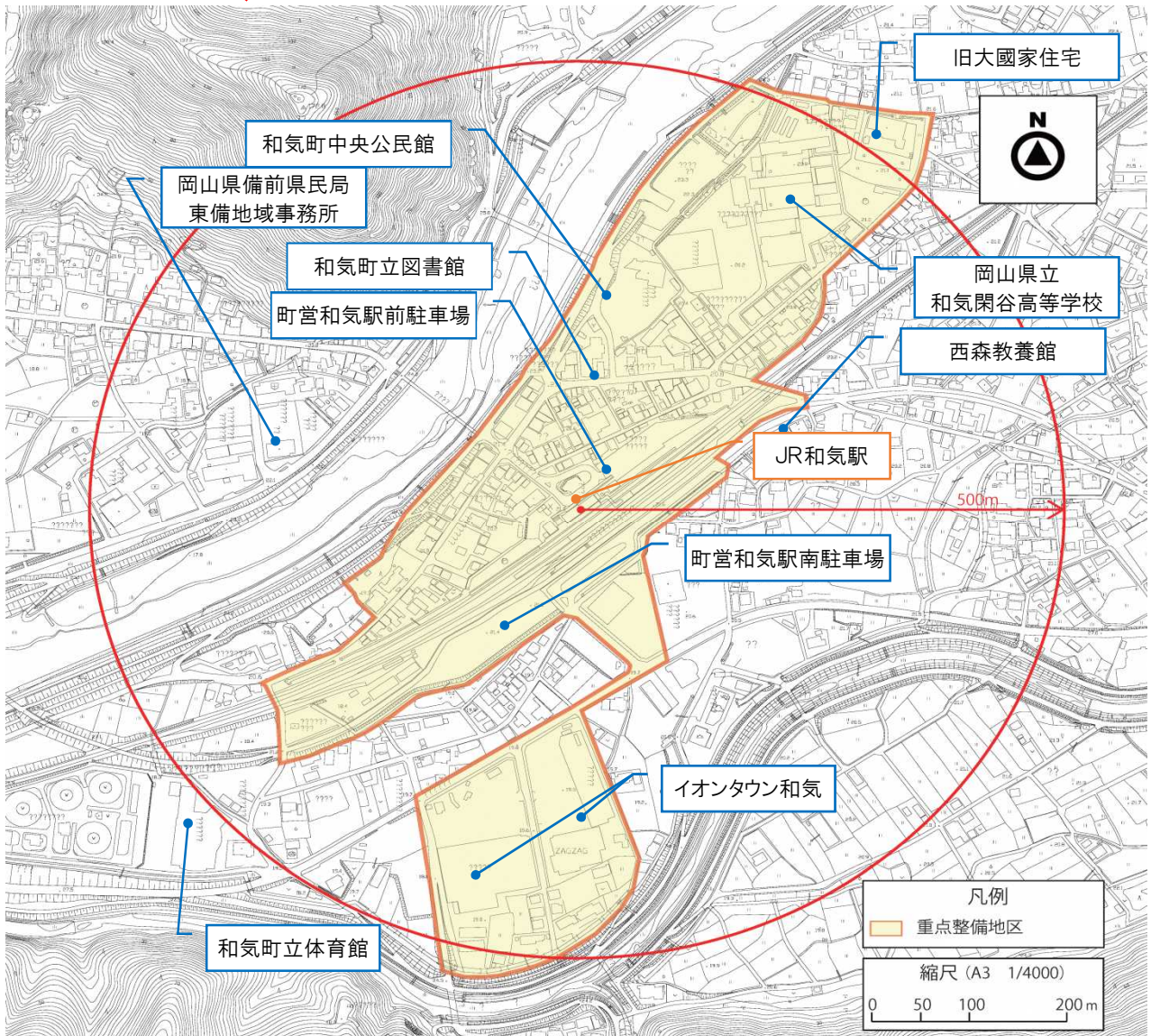
バス

和気町営バス

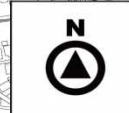
- ① 奥塩田・苦木線
- ② 北山方・田土線
- ③ 津瀬・小原線
- ④ 田賀・佐伯線
- ⑤ 小坂・加三方線
- ⑥ 日笠・和気線
- ⑦ 藤野線
- ⑧ 本荘線
- ⑨ 石生線
- ⑩ 和気駅周辺まちなか線
- ⑪ 佐伯・熊山線
- ⑫ 和気・片上線
- ⑬ 吉永病院線

赤磐広域路線バス

赤磐・和気線



旧大國家住宅



和気町中央公民館

岡山県備前県民局
東備地域事務所

和気町立図書館

町営和気駅前駐車場

岡山県立
和気閑谷高等学校

西森教養館

JR和気駅

500m

町営和気駅南駐車場

イオンタウン和気

和気町立体育館

凡例

重点整備地区

縮尺 (A3 1/4000)

0 50 100 200 m

○和気町バリアフリー基本構想において和気駅周辺地区を整備し、将来的には周辺、まち全体に広がっていくよう継続的にバリアフリー化を推進していく。

※和気駅へのエレベーター設置、生活関連施設・経路の改修、更新等

○公共交通機関については上記の路線において町民が利用しており、特に高齢者や障害者にとって重要な移動手段となっている。車両のノンステップ化や手すりの設置などの推進を図り、誰もが利用しやすい環境整備に努める。

○心のバリアフリー（教育啓発）についても全町、各施設、関係者間で継続的に実施し、理解を深め意識の向上を図っていく。